

● 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会基準日	3月31日
期末配当金基準日	3月31日
公告方法	当社の公告方法は、電子公告としております。 公告掲載URL：https://www.kyokuyo.co.jp ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、東京都内において発行される日本経済新聞に掲載する方法により行います。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話：0120-232-711(フリーダイヤル) 郵送先：〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

<p>ホームページ</p>  <p>トップページ</p> 	<p>SNS</p>  <p>YouTube</p> 	 <p>X(旧Twitter)</p> 
---	---	--

株式会社 極 洋

〒107-0052 東京都港区赤坂三丁目3番5号



BUSINESS REPORT

第**101**期 報告書

2023年4月1日 ▶ 2024年3月31日



株主の皆様には、

平素より格別のご高配を賜り、

厚く御礼申し上げます。

ここに第101期(2024年3月期)

報告書をお届けいたします。

代表取締役社長
井上 誠



企業理念

人間尊重を経営の基本に、
健康で心豊かな生活と
食文化に貢献し
社会とともに成長することを
目指します。

当期は、外食・観光産業の状況が改善してきた一方で、ALPS処理水放出の影響を懸念する動きや、エネルギーや原材料価格、物流費の高止まりにより、厳しい経営環境が続きました。キョクヨーグループではこのような環境の中、中期経営計画「Build Up Platform 2024」の最終年度として、食品事業・海外事業の拡大や財務基盤・人材基盤の強化に取り組んでまいりました。

そして今年度から3か年の新中期経営計画「Gear Up Kyokuyo 2027」をスタートさせました。「魚を

中心に、食で人と暮らしと地球によりそう サステナブルな世界へ」をパーパスとし、前中期経営計画で築いたプラットフォームの上で事業基盤を拡充させ、ステークホルダーとのパートナーシップの強化を図ってまいります。また、今年3月には海外生産拠点の設備投資を目的とした公募増資を実施しましたが、財務基盤をさらに強化し、積極的に成長投資を実施できる体制を整えてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



● 主な連結経営指標

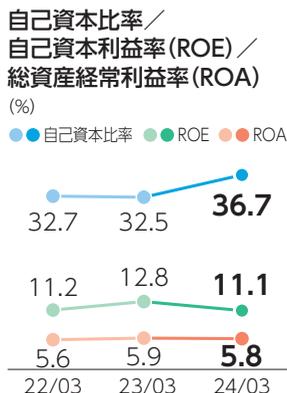
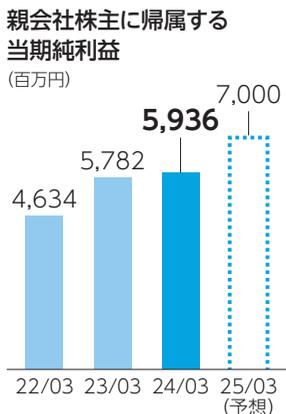
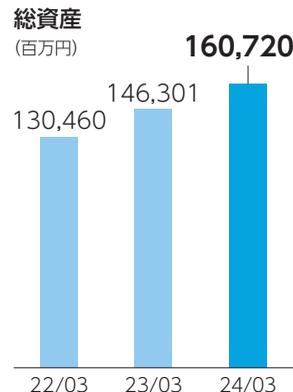
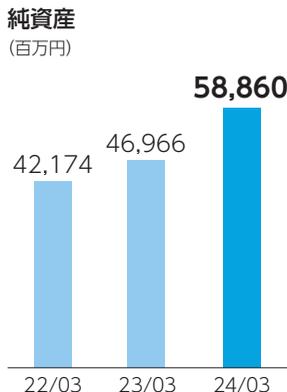
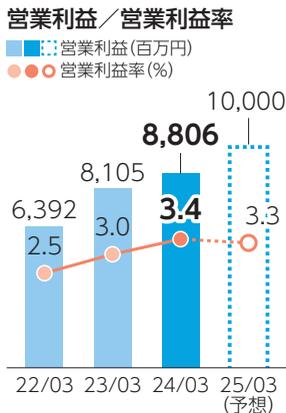
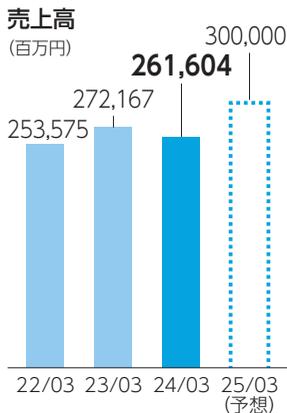
ポイント

- 利益は**2期連続で過去最高値を更新**。
- 水産事業、食品事業の利益が**大幅に改善**。

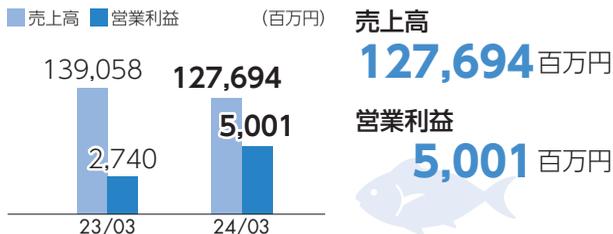
● 主な連結財務指標

ポイント

- 利益の**過去最高値更新**、
公募増資などにより自己資本が増加し、
自己資本比率が上昇。



水産事業セグメント



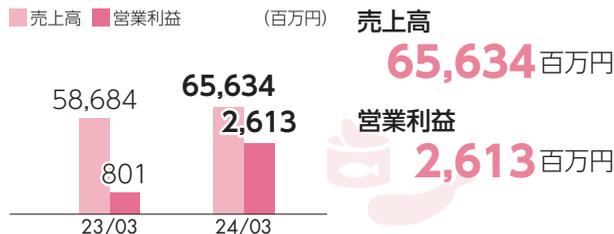
1937年に漁労会社としてスタートして以来、築き上げてきた国内外の調達ネットワークを活かし、世界中から質の高い水産物を安定的に調達するとともに、切身やカニ、エビの剥き身などの加工品を提供しています。注力している海外事業については、日本産水産物の輸出版売のほか、自社グループの海外生産拠点の整備を進めており、加工品や食品のグローバル販売を強化しています。

生鮮事業セグメント



寿司種をはじめとする生食事業と、カツオの漁獲、マグロの買付から加工・販売までを手掛ける鰹鮪事業、養殖事業で構成されています。寿司種は日本向けだけでなく、回転寿司チェーンの海外店舗にも拡販を進めています。カツオについては、当社グループ所有船による独自の調達力があり、マグロについては四国で養殖し、オリジナルブランド「本鮪の極」として出荷しています。高知県の子会社ではマダイなどを養殖しており、養殖魚種の拡充を図り、資源アクセスを強化しています。

食品事業セグメント



業務用冷凍食品、市販用の冷凍・チルド食品、缶詰・珍味などの常温食品で構成されています。

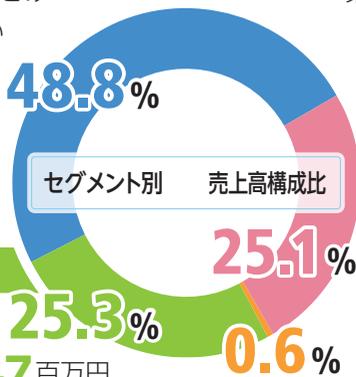
業務用冷凍食品は、煮魚・焼き魚、水産フライやカニ風味かまぼこ、骨なし切身をはじめとする「だんだり上手」シリーズなどを、外食ルートや量販店の惣菜売場、医療・介護施設などに販売しています。

市販用冷凍食品は、煮魚・焼き魚をはじめ、食卓・お弁当の惣菜品としてご利用いただける商品を提供しています。缶詰については、サバなどの魚介缶詰をはじめ、畜肉・農産缶詰を取り揃えています。また、さきいかなどの珍味類のほか、DHAなどの健康食品も販売しています。

物流サービスセグメント



東京の大井および城南島、福岡の3事業所における冷蔵倉庫事業を中心に、倉庫からの配送手配などのロジスティクス・サービスを提供しています。



『Build Up Platform 2024』

の振り返り

新たな成長への礎となる
「高収益構造への転換」を目指して

総括

食品事業は自社工場製品の拡販などにより、高収益構造へと変革してきました。また、海外まき網船建造による資源アクセスの強化、新テレビCM放映によるブランドの強化、公募増資による財務基盤の強化などにおいて、一定の成果を上げました。

一方で、海外事業は生産拠点の整備に注力したものの、コロナ禍の長期化や欧米でのインフレによる消費減退などにより、当初計画には及びませんでした。水産事業と鯉鮭事業では収益の安定化を図りましたが、水産相場に左右される面があり、加工品の拡大や相場の先読みに課題を残しました。

▶ 目標値と実績

	2024年3月期 実績	2024年3月期 目標値
売上高	2,616億円	3,000億円
営業利益	88億円	70億円
経常利益	88億円	65億円
営業利益率	3.4%	2.0%超
経常利益率	3.4%	2.0%超
海外売上高	218億円	300億円
D/Eレシオ	1.4倍	1.5倍

主な戦略と取り組み

01 食品事業の拡大

食品部門を商材別から業態別の組織に再編成し、販売体制を強化しました。また、自社工場製品の販売に注力するとともに、生産アイテムの集約により、高収益化を推進しました。

02 海外事業の拡大

「海外でつくり、海外で売る」という方針のもと、海外生産拠点を整備しました。

タイの海外基幹工場が完工したほか、東南アジア向けの食品生産を目的としたベトナムの新工場および米国向けのカニ風味かまぼこを製造する北米の新工場は、2024年度中の稼働を予定しています。また、冷凍食品を製造、ヨーロッパにも輸出しているトルコ企業に出資するなど、今後の海外事業拡大に向け、基礎を固めました。

03 財務基盤の強化

海外生産拠点の積極的な設備投資のため、公募増資により約37億円を調達しました。自己資本の拡充および借入金の低減を図ることで、生産規模の拡大などの成長投資に、機動的に対応できる財務柔軟性を確保しました。今後も企業価値の向上につながる投資に意欲的に取り組んでまいります。

Gear Up Kyokuyo

2027

(2024~2026年度)

パーパス **魚を中心に、食で人と暮らしと地球によりそう サステナブルな世界へ**

企業パーパスのもと、「事業基盤」の拡充、「財務基盤」と「ステークホルダーとのパートナーシップ」の強化を進めながら、ミッション達成に向けて、以下の3つの視座で施策を遂行し、強いキョクヨーを追求していきます。



事業基盤(生産拠点、販売拠点等)の拡充
財務基盤(安定的な利益の獲得、多様な資金調達等)の強化
ステークホルダー(お客様、お取引先様)とのパートナーシップの強化

3つの視座

01 人財・組織

従業員一人ひとりが活躍できる職場環境を創造するため、キョクヨーグループ各社と個々とのエンゲージメントを重視し、成長の原動力となる人財の育成を通して、社会の変化に対応できる組織を整える。

02 4つの事業

変化に柔軟に適應できる人財に富んだ組織のもとで、水産・生鮮・食品・海外の4つの事業を柱に、グループを強化・拡大。

03 グローバル化

食の多様性への対応はビジネスチャンスにつながることから、4つの事業展開で世界各地の食のニーズを捉えた商品の現地生産・販売体制を整え、水産物需要が高まる海外で事業ウィングを拡げる。

キョクヨーグループのミッション

- 魚を中心に健康で安心安全な食を提供する
- グローバルなサプライチェーンの中で責任ある調達を実践する
- 社会や地球環境と調和したサステナブルな食を実現する
- 一人ひとりが活躍できる明るい会社をつくる

また、キョクヨーグループの強化・拡大を達成し、成長を加速させるため、KPIを設定しました。

目的	2027年3月期目標値
事業規模の拡大	売上高 4,000億円
高収益体制の強化	営業・経常利益 135億円
グローバル化の推進	海外売上高比率 15%以上
資産効率性の重視	ROIC (投下資本利益率) 6%以上
株主還元の充実	DOE (株主資本配当率) 3%以上

TOPICS

トピックス

新人事制度を導入

2023年4月に導入した新制度により、平均年収は約2割、初任給は約3割引き上げられ、定年は60歳から65歳に延長されました。競争力のある会社であり続けるためには従業員の幸福が必要不可欠という経営ビジョンのもと、多様化する働き方やライフスタイルの変化への対応を目的とし、年齢によらず、組織貢献度、能力、資質等をより適正に評価できる制度としました。

水産物資源調査の実施

当社グループが2020年度に調達した水産物について、その資源状態を調査し、2023年10月に公表しました。調査結果はグループ全体で情報を共有し、生物多様性と生態系の保全、持続可能な水産資源の利用に配慮した事業活動に役立てていきます。



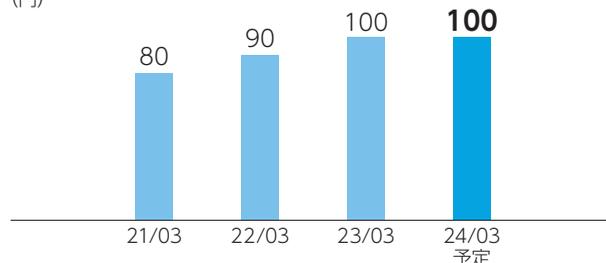
● 株主還元について

配当金 **100** 円

当社は企業体質の強化および将来の事業展開に備えるための内部留保の充実を図るとともに、安定配当を継続しつつも、中長期的な利益成長による配当水準の向上を目指します。2024年3月期の配当は、1株100円といたしたく、第101回定時株主総会にお諮りいたします。

配当の状況(1株当たりの配当金)

(円)



● 株主優待のご案内

当社は、株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式の魅力を高め、当社株式を保有していただける株主の増加を図ることを目的として株主優待制度を実施しています。



次頁にて
ご紹介



● 株主優待の内容

対象株主

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された
1単元(100株)以上所有の株主様

優待の内容

- 1単元(100株)以上3単元(300株)未満所有の株主様
→ **2,500円相当の当社製品**を贈呈
- 3単元(300株)以上所有の株主様
→ **6,000円相当の当社製品**を贈呈

贈呈時期

毎年7月予定



優待の一例
(昨年度)

／当社製品を贈呈／

2,500円相当 製品詰め合わせ

- さば味噌煮
- アラスカ産
紅鮭水煮
- 帆立貝柱水煮



6,000円相当 製品詰め合わせ

- さば味噌煮×2缶
- 紅ずわいがに赤身脚肉
- アラスカ産紅鮭水煮×2缶
- 帆立貝柱水煮



● 株式の概況 (2024年3月31日現在)

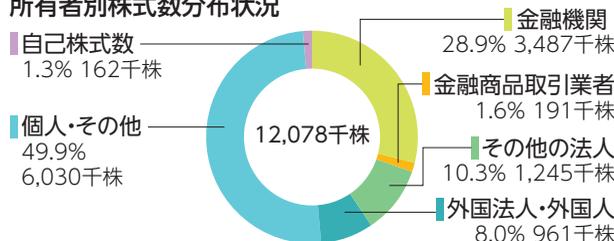
発行可能株式総数	43,700,000株
発行済株式の総数	12,078,283株
株主数	32,021名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,162	9.75
株式会社りそな銀行	523	4.39
農林中央金庫	445	3.73
株式会社日本カストディ銀行	424	3.55
東洋製罐グループホールディングス株式会社	315	2.64
三井住友海上火災保険株式会社	250	2.09
東京海上日動火災保険株式会社	224	1.88
中村 格彰	169	1.41
JP MORGAN CHASE BANK 385781	149	1.25
極洋秋津会	146	1.22

※上記株式のうち日本マスタートラスト信託銀行株式会社全株、株式会社日本カストディ銀行全株は、信託業務に係る株式であります。

所有者別株式数分布状況



株価および出来高の推移

